

# ひかり

2017 年 4 月号



日本聖公会 三光教会

第 655 号

〒142-0064 東京都品川区旗の台 6-22-24

電話 03(3781)2554

FAX 03(3781)2544

<http://nssk.org/tokyo/church/sanko/stephen/>

昇天日

イエスは言われた。「全世界に行って、すべての  
造られたものに福音を宣べ伝えなさい。」

(マルコ 16 : 15)

創立 救主降誕 1912 年 (大正元年) 11 月 2 日

## 復活のイエスは共におられる

司祭 グレース 神崎和子

主のご復活を共に祝いたいと思います。

主イエス・キリストは、十字架の上で私たちの罪を全部背負われて、殺されました。そしてかねて言われていたように、復活されたのです。

十字架の死、そして墓に葬られ、復活されたイエス様が私たちにも語りかけてくださいます。空の墓の中で混乱した女性たちと同じように、時と場所を超えて、私たちに語られています。イエス様の復活の出来事は突然に、私たちにも襲ってくるのです。しかしそれは人間の言葉を持つては説明するに限りがある出来事なのです。つまり他者に説明する言葉を持たないほどの出来事なのです。しかし、驚くべきリアリティーをもって私たちに訪れるのです。復活されたイエス様は理性的な認識を超えたものです。しかし「復活の主」との出会いには必ず私たちにも起こるのです。

2 千年前、女たちは空つぽの

墓から逃げ出してその後どこへ行ったのでしょうか。弟子たちのところでしょうか。それとも自分たちの生まれ育ったふるさとガリラヤでしょうか。彼女たちは呆然と歩き続けたのかもしれませんが。

墓の中にいた天使は「あの方は死者の中から復活された。そして、あなたがたより先にガリラヤに行かれる」と言いました。その不思議な言葉に導かれて、あの出来事は何であろうかと行く道々、取り付かれた者のようになって歩いていったのかもしれませんが、あの墓での出来事は現実なのか幻なのか、イエス様との過去の記憶と交錯させながら、なんとか言葉を編み出そうと歩き続けたのではないでしょう。

ガリラヤの地は最初にイエス様に出会った場所です。イエス様の語る神の国に目を見張り、それまでの自分たちを縛りつけていた呪縛から解放された出会いの場です。そこに帰り、そこでもう一度イエス様と生き直すこと、それは「復活の主」に出会った出来事と言えるでしょう。

空の墓へと遡って過去の出来事

(次ページ上段へ続く)

## 4 月・5 月の予定

### ◆ 4 月

16 日 (日) 復活日  
17 日 (月) 復活後月曜日  
18 日 (火) 復活後火曜日  
19 日 (水) 復活後水曜日  
20 日 (木) 復活後木曜日  
21 日 (金) 復活後金曜日  
22 日 (土) 復活後土曜日  
23 日 (日) 復活節第 2 主日  
25 日 (火) 福音記者聖マルコ日  
29 日 (土) 復活節第 3 主日

### ◆ 5 月

1 日 (月) 使徒聖ピロ・使徒聖ヤコブ日  
2 日 (火) 5 月逝去者記念聖餐式  
3 日 (水) 主教会博士アタナシオ  
4 日 (木) 復活節第 4 主日  
7 日 (日) モニカ  
9 日 (火) 主教会博士ナジアンソスのグレゴリー／聖書に学ぶ会 (旧約)  
14 日 (日) 復活節第 5 主日  
16 日 (火) 聖書に学ぶ会 (新約)  
19 日 (金) 聖書に学ぶ会 (旧約)  
21 日 (日) 復活節第 6 主日  
25 日 (木) 昇天日／聖書に学ぶ会 (旧約)

に思い巡らすだけでなく、今現実  
に私たちの中にイエス様は生きて  
おられるのです。特に抑圧された  
人、差別されている人、苦しみの  
中にある人、これらの人々の中に  
復活のイエスはおられるのです。  
小さくされている人々に出会った  
とき、イエス様は「復活」して私  
たちと共にいてくださるのです。

イエス様の「ご復活」は「主が  
共にいてくださる」という確実な  
信仰を私たちに生じさせる事実な  
のです。この信仰を持って進んで  
行きましょう。

### 三光教会のみなさまへ

聖職候補生 高柳 章江

三光教会に勤務が決まったとき、  
正直、ローチャーチ出身の私がハ  
イチャーチの大きな教会でやって  
いけるのだろうか、と不安な気持  
ちになりました。しかし、神学院  
の卒業礼拝に来てくださった神崎  
先生と信徒の方々の姿や、私の引  
つ越し準備に関わってくださいた  
総務をはじめとする信徒の方々の  
働く姿から、みなさんが私を迎え

入れようとしてくださっているこ  
とが伝わってきて、それが嬉しく  
て、不安な気持ちがどんどん薄れ  
ていきました。また、神崎和子司  
祭からもいろいろと細やかな配慮  
をいただき、それが励みとなって  
「がんばろう」という気持ちもわ  
いてきました。

なぜ神さまは私を聖職の道に招  
いたのか、という思いは今でも私  
の心の片隅にあります。私になに  
ができるのかもわかりません。け  
れども、4月の最初の主日礼拝で  
祭壇の隅に立つて礼拝堂の入口を  
見たとき「ああ、神さまは私をこ  
の教会においてくださったんだ  
な」と思いました。神さまのご計  
画は計り知れませんが、私を三光  
教会においてくださった神さまに  
感謝して、これから神崎先生やみ  
なさんに教えていただきながら働  
きたいと思います。どうぞよろし  
くお願いいたします。

#### ■大斎講話

#### 「キリストと共に生きる」といふ

— 堅信前の陪餐を考える —

2017年3月5日

司祭 市原信太郎

#### 「講話を聴いて」

洗礼と堅信にまつわる歴史的  
背景と第一から第五祈祷書の解釈  
を紐解いて、「堅信前の陪餐」に  
関する膨大な研究を簡潔にご説明  
くださり、理解を得ることが出来  
ました。

私にとって特に印象的だった  
のは洗礼に至るまでの「過程」、  
また受けてからの「過程」すべて  
が広い意味での入信であり、生涯  
続く旅路であるというお話です。  
改めて自分の生活の場においても  
宗教的な意味や責任を引き受けて  
生きようと気持ちが引き締まり、  
また不十分な自分にもパンとブド  
ウ酒で常に愛を注いで下さる神様  
の存在に改めて感謝しました。

(記・出口貴子)

#### ■大斎講話

#### 「聖職志願者としての 歩みにむけて」

2017年3月12日

ウィリアムズ 藤田 誠

#### 「講話の概要」

就職後間もなく軽井沢に転勤し  
観光地の多忙さに翻弄された。旧  
約聖書学の恩師から「転勤時には  
聖書を持って行くように」の言葉

を思い出し、聖書を一人で読んだ。  
教会に導かれて受洗する。その後  
会社が倒産。実家に帰り、人工透  
析中の父を介護し、父を見送るこ  
とが出来た。この看病の際に三光  
教会を目にして毎週通うようにな  
った。信仰が育まれる途上で聖職  
への関心が芽生える。

ステパノ会(日曜学校) 教話の  
福音箇所で、主イエスが言われた  
「なぜ怖がるのか。まだ信じない  
のか」のみ言葉で自分の弱さに向  
き合う機会になりました。神様は  
自分を呼んでいるのかどうか今は  
解りませんが、自分自身の弱さに  
触れながら祈り歩んで参ります。

(記・藤田清子)

#### 婦人会だより (3月)

3月19日 参加者 22名

お祈り、聖歌 548番

・神崎司祭のお話

「フアリスイ人」ってどんな人た  
ち? 旧約のレビ記第十七章を読  
みましょう。

・5月31日(水)のバス遠足について  
申し込みは4月13日、5月21  
日締切。費用は4千円。

・イースターの会食について。

例年通り持ち寄りですが、お赤飯、から揚げを教会で準備します。但し、今年はその費用を婦人会が負担することに決まりました。  
・秋の創立記念日の昼食についてのご意見をお寄せください。

(記・倉田迪子)

＊訂正 「婦人会だより・2月」の執筆者は、正しくは石田敏子さんでした。お詫びして訂正します。

### 男子会だより (3月)

3月19日の定例会では「母の日」昼食サービスと、電話連絡網の改善を中心に討議しました。  
昼食サービスのメニューと詳細は4月度に決定しますが、例年通りの鉄火井になりそうです。

ファックス主体の電話連絡網の不便、不具合を改善するために、少人数で男子会の新しい連絡網の試案を検討することになりました。次月例会に提案する予定です。

(記・伊藤和彦)

### 城南教会グループ

#### 「十字架の道行き」を真光教会で

城南教会グループ協議会主催の「十字架の道行き」が、3月31日金曜日の午後7時から町田市の真光教会で行なわれました。

司式はケビン・シーバー司祭で、素晴らしい道行きでした。雨の夜でありましたが、城南地区各教会の牧師、執事、信徒40数名が参加し、豊かなひとときを共に過ごしました。三光教会からも多くの方が出席しました。

城南教会グループ協議会は、三光教会を含む城南地区の8教会の聖職、信徒代表で構成され、定期的に活動しています。今年度の幹事教会は真光教会です。

今後各諸行事をご案内しますので、どうぞご参加ください。

(記・伊藤和彦)

### ■ステパノ会

#### 教師任命式が行なわれる

4月2日、大斎節第5主日聖餐式の中で、2017年度の日曜学校ステパノ会教師任命式が行なわれました。

今年度のステパノ会を担うのは次の方々です。

#### ・教師

神崎司祭、安部信夫、根田栄子、藤田 誠、松崎尚美、頼 甲子

#### ・スタッフ

鍋島和幸、橋本 泉、出口貴子、笹沼貴子、濱口 俊

#### ・オルガニスト

池内美和子、宮武俊江、吉村美香

### 駐車票の新年度切替え

主日礼拝にクルマで教会に来られる方のための駐車票が4月より新年度のものに切り替わります。駐車場(香蘭女学校)使用の希望、また駐車票と駐車用献金袋の申請は、総務委員会担当者にお声を掛けてください。

### 教会のお掃除にご協力を

聖堂内外のお掃除の協力者が少なくなりました。土曜日の午前10時から1時間程ご奉仕ください。ご協力いただける方は直接参加してください。

### はじめて教会にいらした方へ

礼拝様式に馴れない方は椅子にお掛けになったままで結構です。  
●礼拝中の献金は、信施金として伝道のために献げられるものです。金額は自由です。  
●わからない点は隣の席の者か案内係にお聞きください。

### 礼拝のご案内

#### ■主日礼拝

午前 7:00 早祷・嘆願  
午前 7:30 聖餐式  
午前 9:00 ステパノ会  
(日曜学校)礼拝  
午前 10:30 聖餐式  
午後 4:00 夕の礼拝

#### ■平日礼拝

月曜日から土曜日までは、毎朝 6:30 の早祷に引き続いて聖餐式